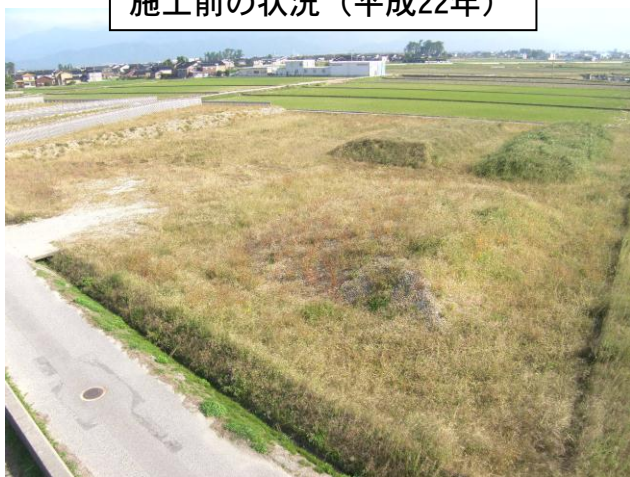


24 農業の発展に寄与した入善海岸防災林造成事業

富山県（入善町）

施工前の状況（平成22年）



施工直後の状況（平成23年）



施工後約20年の状況



○所在場所

富山県下新川郡入善町田中 ほか

○施設・工法の概要

延長 7,000m、面積 21ha

主な工種（防風柵工、植栽工）

○解説

入善海岸は、黒部川の扇状地に肥沃で水に富んだ耕地が広がり、海岸沿いには、湧水や沢に沿って杉沢と呼ばれる天然の杉林が点在し、海岸線に斜めに当たる季節風に対して、防潮や防風の効果があったと考えられています。その後、これら杉沢が開発等によりほとんどが消失し、潮害に悩ませられた住民から海岸林造成の要請が高まり、昭和60年に、町と協力して県が海岸防災林造成を開始しています。

海岸防災林が造成されたことにより、潮風害が緩和され、稲の収穫量の回復に効果が現れるなど、多くの地域住民が恩恵を受けています。